



OUND PURE

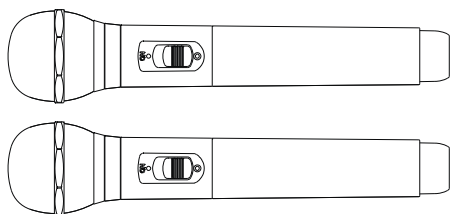
SPK SERIES

取扱説明書

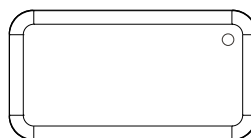
業務用赤外線ワイヤレスマイクセット

この度は、SOUND PURE製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。この「取扱説明書」の内容を確認し、本製品を正しく御使用ください。

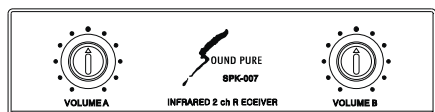
セット製品



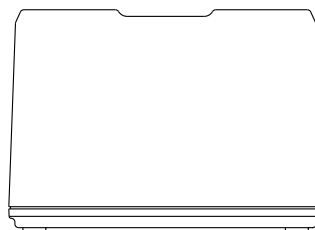
SPK-009
業務用赤外線ワイヤレスマイク



SPK-016
業務用赤外線受光器



SPK-007
業務用赤外線レシーバー



SPK-008
業務用赤外線ワイヤレスマイク充電器

特長

- 隣接した部屋と混信しない赤外線伝送方式により、安定した運用が可能です。
- 送信チャンネルを簡単な操作で切替可能です。
- テーブルなどに置いたまましばらくすると、自動で電源がオフになる自動電源オフ機能を搭載しています。
- マイク落下時に自動的に電源をオフにし機材を守る、落下時自動電源オフ機能を搭載しています。（特許出願中）

目次

ワイヤレスマイク	
各部の名称と機能	4
使い方	4
電池の入れ方	4
レシーバー	
各部の名称と機能	5
接続方法	5
受光器	
各部の名称と機能	6
接続方法	6
設置例	6
充電器	
各部の名称と機能	7
使用方法	7
故障かな？と思ったら	8
製品仕様	8

安全上の注意

本製品は安全性に十分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。必ず御使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しく御使用ください。



警告

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う危険性がある項目です。



注意

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。

マイク・受光器について



警告

- 強い衝撃を与えない
感電、故障や火災の原因になります。
- 水にぬらさない
感電、故障や火災の原因になります。
- 重いものを載せたり不安定な場所に置かない
変形、転倒による破損、故障や火災の原因になります。
- 機械を分解、改造しない
絶対に分解しないで下さい。感電の危険があります。
- 異物（燃えやすいもの、金属、液体など）を入れない
感電、故障や火災の原因になります。
- 異常（音、煙、臭い、発熱、損傷など）に気づいたら使用しない
異常に気づいた場合は使用を中止し、販売店に御相談ください。
そのまま使用されますと火災、感電、事故につながる可能性があります。



注意

- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない
故障、不具合の原因になります。
- 火気に近づけない
変形、故障の原因になります。
- 調理台の近くなど油、蒸気、熱のあたる場所に置かない
変形、故障や不具合の原因になります。
- 本製品の上に物などを置かない
万一倒れた場合、感電によるけがや、火災など事故の原因になります。

レシーバー・充電器について



警告

- 付属のACアダプター以外使用しない
電流容量などの違いにより、火災・感電の原因になります。また、故障・不具合の原因になります。
- 水にぬらさない
感電、故障や火災の原因になります。
- 重いものを載せたり不安定な場所に置かない
変形、転倒による破損、故障や火災の原因になります。
- 機械を分解、改造しない
絶対に分解しないで下さい。感電の危険があります。
- 工事が必要なときは専門店で相談する
工事を必要とする場合は、技術と経験のある工事店に御相談ください。
- 異常（音、煙、臭い、発熱、損傷など）に気づいたら使用しない
異常に気づいた場合は使用を中止し、販売店に御相談ください。
そのまま使用されますと火災、感電、事故につながる可能性があります。



注意

- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない
故障、不具合の原因になります。
- 火気に近づけない
変形、故障の原因になります。
- 調理台の近くなど油、蒸気、熱のあたる場所に置かない
変形、故障や不具合の原因になります。
- 本製品の上に物などを置かない
万一倒れた場合、感電によるけがや、火災など事故の原因になります。

⚠ 危険

- 電池の液が目に入ったときは目をこすらない
すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、医師の診断を受けてください。
- 電池の液が漏れたときは素手で液を触らない
液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。電池が液漏れを起こした場合は、ご購入された販売店にご相談ください。
万一、なめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で十分にうがいをし、医師の診断を受けてください。
皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合は医師の診断を受けてください。

⚠ 警告

- 火の中に入れてない、加熱、分解、改造しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 電池は（＋）（－）を逆に入れない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 強い衝撃を与えない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 長期間使用しない場合は電池を取り出す
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 硬貨や鍵など金属製のものと一緒の場所に置いたり、電池の（＋）（－）を接続しない
ショート状態になり液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 乾電池は充電しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

⚠ 注意

- 以下の場所で使用、放置、保管しない
 - ・直射日光の当たる場所、高温多湿の場所
 - ・炎天下の車内
 - ・ストーブなどの熱源の近く
 液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。
- 足に引っかかりやすい場所にケーブルを引き回さない
ショート状態になりやすく、液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

⚠ 警告

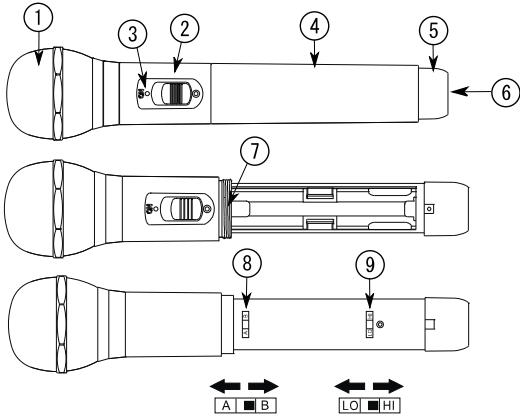
- 表示している電源電圧以外で使用しない
過熱による火災など事故の原因になります。
- 本製品以外には使用しない
電流容量などの違いにより、火災・感電の原因になります。また、故障・不具合の原因になります。
- 異常に気づいたら使用しない
異常に気づいた場合は使用を中止し、販売店に御相談ください。そのまま使用されますと火災、感電、事故につながる可能性があります。
- コンセントや本体にプラグを差し込む際は、根本まで確実に差し込む
過熱による火災など事故の原因になります。
- ケーブルを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする
断線、故障の原因になります。
- 分解や改造はしない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- 強い衝撃を与えない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- 濡れた手で触れない
感電によるけがの恐れがあります。
- すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるようにする
電源スイッチを切ってもコンセントからは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるようにしてください。

⚠ 注意

- 長時間使用しないときはコンセントから抜く
火災の原因になることがあります。安全のため、必ずコンセントから抜いてください。
- 足に引っかかりやすい場所にケーブルを引き回さない
故障や事故の原因になります。

ワイヤレスマイク

各部の名称と機能



- ①ヘッドケース
- ②電源スイッチ
スライドさせ電源のオン/オフを切り替えます。
- ③電源インジケータ
電源を入れると現在のチャンネルと電池の残量を表示します。
オレンジ点灯 : 使用可能です。Achで動作中です。
グリーン点灯 : 使用可能です。Bchで動作中です。
点滅または無点灯 : 充電してください。
※電源インジケータの表示は目安です。
※電源インジケータが点滅の際は飛距離が短くなり、ノイズの混入や途切れが発生する場合があります。
- ④グリップ
- ⑤赤外線発光部
- ⑥充電端子
- ⑦自動電源オフ機能切替スイッチ
オンの場合、自動電源オフ機能が有効になります。
マイクスタンドを使用する場合など、マイクを動かさずに使用する際にはオフにしてください。
※落下時自動電源オフ機能も同時にオフになるので、マイクの落下には御注意ください。
- ⑧チャンネル切替スイッチ
使用するチャンネルを切り替えられます。
- ⑨赤外線出力切替スイッチ
赤外線出力の設定を切り替えられます。

使い方

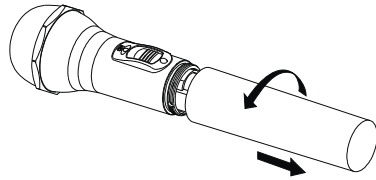
- 1. 本製品を充電します。
- 2. 本製品の電源を入れます。
※電源を入れて約1秒間は音が出ません。
- 3. 音が出ることを確認し、レシーバーで音量を調整します。

電池の入れ方

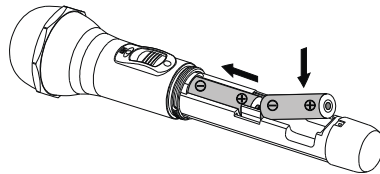
本製品は単三型ニッケル水素電池（1.2V, 1700mAh）2本を使用します。

指定のニッケル水素電池以外は絶対に使用しないで下さい。

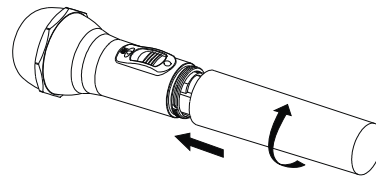
- 1. 電源をオフにします。
- 2. グリップを反時計方向に回し、取り外します。



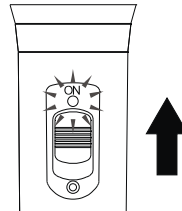
- 3. 乾電池をマイナス側から先に入れます。



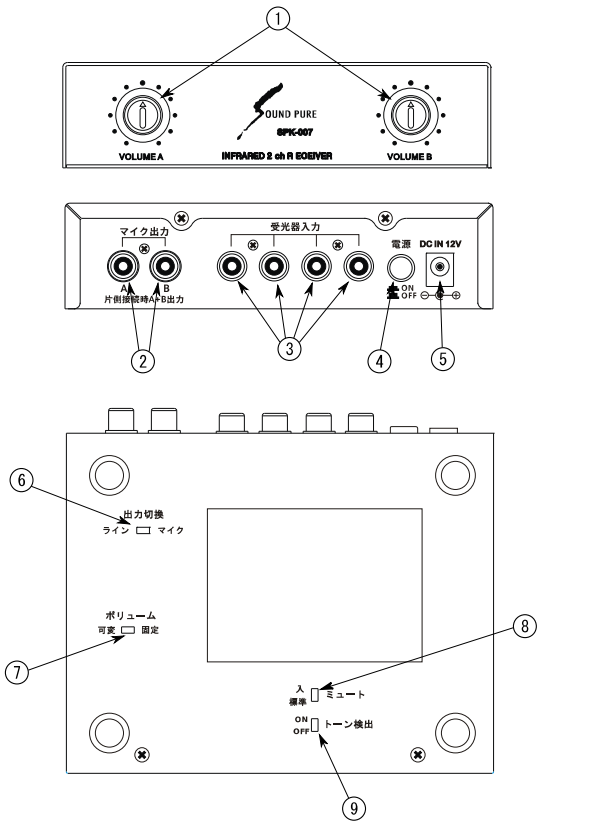
- 4. グリップを本体にはめ込み、時計方向に止まるまで回します。



- 5. 電源スイッチをオンにし、電源インジケータが点灯すれば正常です。
※電源インジケータが点滅または無点灯の場合は電池が消耗しています。



各部の名称と機能



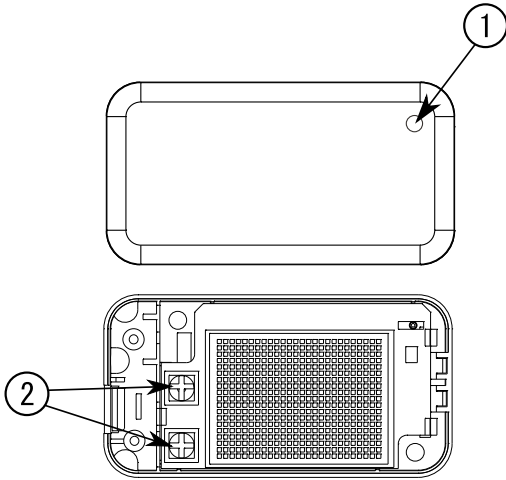
- ①ボリュームスイッチ
マイクのボリュームを調整します。
マイクを接続中の場合、周囲が光ります。
- ②マイク出力端子
片側に接続するとミックス、両方に接続すると個別出力になります。
- ③受光器入力端子
受光器を最大4台まで接続できます。
- ④電源スイッチ
電源のオン、オフを切り替えます。
- ⑤電源ジャック
付属のACアダプターを接続します。
- ⑥出力切替スイッチ
出力レベルを用途に合わせて変更します。
- ⑦ボリューム切替スイッチ
ボリュームスイッチの使用の有無を変更します。
固定を選択した場合、マイクの音量は一定になります。
- ⑧ミュート切替スイッチ
入にすると受信範囲は狭くなりますが、音切れ直前に発生するノイズをカットできます。
- ⑨トーン検出切替スイッチ
トーン検出のオン、オフを切り替えます。

接続方法

1. SPK-007のマイク出力端子と、接続する機器の入力端子を接続します。
※マイク出力端子はどちらか片方にのみ接続した場合、A, B両チャンネルの混合が出力されます。両方に接続した場合は、それぞれのチャンネルの音声のみが出力されます。
2. SPK-007の入力端子と、SPK-016 受光ユニットを接続します。
3. SPK-007にACアダプターを使用して電源に接続します。
4. SPK-007の電源をオンにします。
5. 電源インジケータが発光します。
マイクの電源がオンの場合、対応するチャンネルのボリュームスイッチ周りがAチャンネルはオレンジに、Bチャンネルはグリーンに点灯します。

- 接続する機器の説明書も併せてお読みください。
- 設置の際は必ず技術と経験のある工事店にご依頼ください。
- 接続するケーブルは専用ケーブルを用意し、30m以内で御使用ください。
- 受光器は最大4台まで接続できます。
- 受光器を複数取り付ける際は、全てのケーブルを同じ長さにしてください。（推奨差：5m以内）
- 設置した受光ユニットが使用者や障害物の陰にある場合、受信しません。受光ユニットを設置する際は、マイクから複数の受光ユニットが見えるように設置してください。
- ケーブルが長すぎたり、長さが異なると雑音が多くなる場合があります。

各部の名称と機能



- ①電源インジケータ
赤外線レシーバーの電源スイッチを入れると青色に点灯します。
- ②ケーブル接続用端子
赤外線レシーバーに接続するケーブル用のねじ端子です。

接続方法

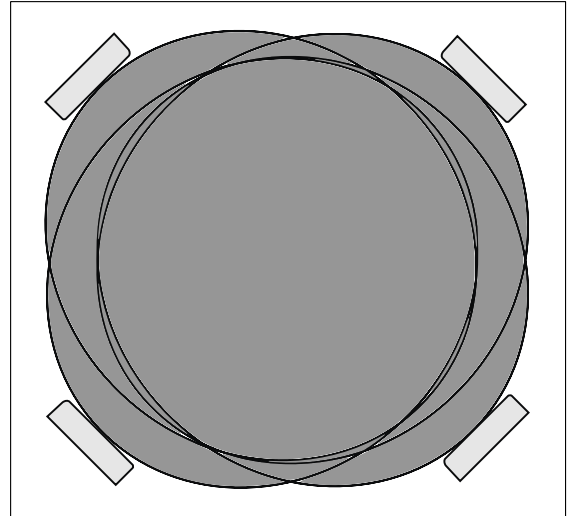
1. 赤外線レシーバの出力端子と、接続する機器の入力端子を接続します。
 2. 本製品のねじ端子にRCAケーブルを接続します。
※接続方法は後述
 3. 本製品に接続したRCAケーブルを、赤外線レシーバの入力端子に接続します。
 4. 赤外線レシーバーに電源を接続します。
 5. 赤外線レシーバーの電源をオンにします。
 6. 電源インジケータが点灯します。
※端子とコネクタの接続不良、ケーブルの断線やショートしているときは点灯しませんので、受光器の接続などを確認してください。
- 接続する機器の説明書も併せてお読みください。
 - 設置の際は必ず技術と経験のある工事店にご依頼ください。
 - 受光器からのコードを壁などに固定する場合、強い力で固定すると断線することがありますのでご注意ください。
 - 取り付け場所の強度を確認してください。強度不足、取り付けの不備による落下などの事故に対する責任は、当社は一切負いません。
 - 設置した受光ユニットが使用者や障害物の陰にある場合、受信しません。受光ユニットを設置する際は、マイクから複数の受光ユニットが見えるように設置してください。
 - 照明機器やリモコン、赤外線LANなどの近くには設置しないで下さい。動作不良やノイズの原因となります。

設置例

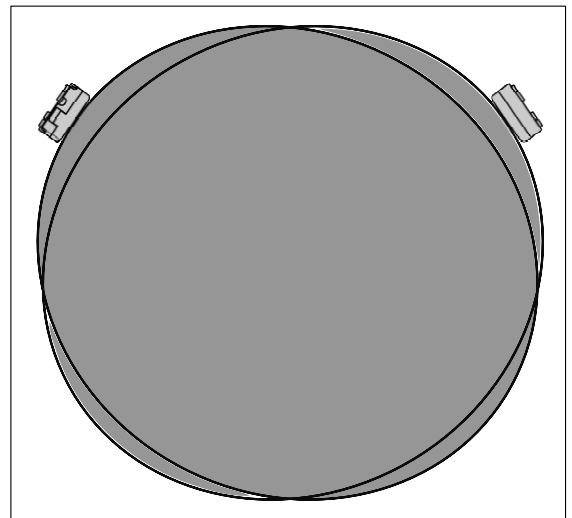
天面から見た設置例

受信範囲がある程度重なるように受光器を取り付けると効果的です。

上から見た場合

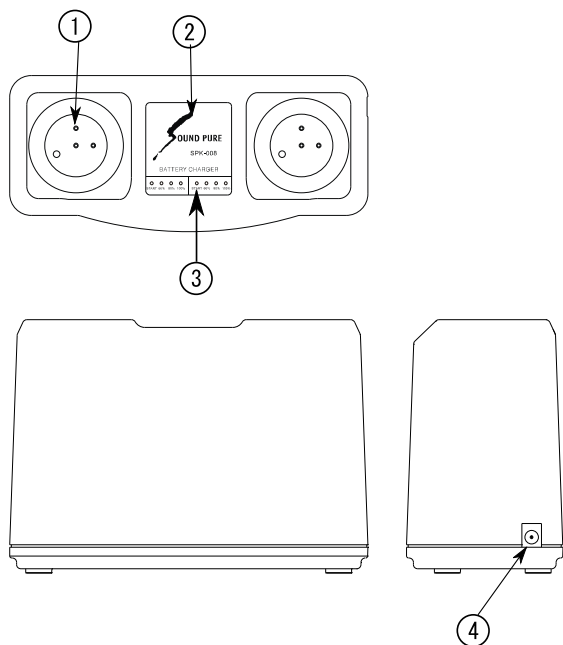


横から見た場合



充電器

各部の名称と機能



- ① 充電口
赤外線ワイヤレスマイクを電極を下にして静かに差し込み、充電します。
- ② 電源インジケータ
電源状況が表示されます。
- ③ 充電インジケータ
充電状況が表示されます。
- ④ 外部電源接続ジャック
ACアダプターを接続するジャックです。

使用方法

1. 外部電源接続ジャックにACアダプターを接続します。
 2. ACアダプターをAC100Vコンセントに差し込むと、電源インジケータが点灯します。
 3. マイクの電源をオフにしてから、充電口に差し込みます。
※ マイクの電源がオンの状態で充電口に差し込むと、自動的にマイクの電源がオフになり、充電が開始されます。
- 指定の単三型ニッケル水素電池以外は絶対に使用しないで下さい。
4. 充電インジケータが点灯し、100%の部分が点灯すると充電完了となります。
 5. 充電は約5.5時間で完了します。
※ 充電状態の表示は目安です。極力、満充電になってからご使用ください。

⚠ 充電上の注意

- 本製品はマイクを充電器に差し込んで充電が始まると自動的にマイクの電源が切れますが、念のためマイクの電源スイッチをオフにしてから充電してください。マイクの電源スイッチがオンの状態で充電器に差し込むと異音が発生する場合がありますが、使用上問題ありません。
- 充電式電池は、使い切らないうちに充電を繰り返すと、充電状態とは無関係に電池が消耗するメモリー効果と呼ばれる現象が起きます。改善するには、一度電池をマイクロホンのインジケータが消えるまで使い切ってから充電してください。改善されない場合、充電式電池の寿命の可能性があります。新しい充電式電池と交換してください。
- 充電しないでスタンドとしてご使用の場合、ACアダプターを抜いてください。
- マイクの底の充電端子が汚れていると十分に充電できないことがあります。充電端子の汚れを落としてから充電器に入れてください。
- 充電式電池はその性格上、充電を繰り返すと電池の容量が減少してきます。使用時間が短くなってきたら、なるべく早く新しい電池と交換されることをお勧めします。

故障かな？と思ったら

電源

- ・電池が消耗していないか確認し、消耗していたら交換、または充電してください。
- ・ACアダプターが、製品及びコンセントに接続しているか確認し、接続しなおしてください。
- ・本製品の電源を一度切り、再度電源を入れてください。

音声

- ・接続した機器の入力端子と、本製品の出力端子が正しく接続されているか確認してください。
- ・接続ケーブルが折れ曲がったり、ねじれたり、破損したりしていないことを確認してください。
- ・赤外線レシーバーの出力切替が合っているかを確認し、接続した機器に合わせてライン/マイクの出力設定を切り替えてください。
- ・赤外線レシーバーや接続した機器のボリュームを確認してください。
- ・受光器と赤外線マイクとの間に障害物がある場合、障害物を取り除くか移動し、受光器が見通せるようにしてください。または、受光器を増設してください。
- ・受光器と赤外線マイクの距離が離れすぎている場合は、受信範囲内で御使用ください。または受光器を増設してください。
- ・受光器の近くにノイズの原因となる機器がある場合は、受光器が正常に動作する場所まで離して設置してください。
- ・受光器と接続しているケーブルを束ねて配線している場合は、離して配線してください。
- ・受光器と接続しているケーブルが長すぎる場合は、10m以内で配線してください。
- ・受光器を複数台設置している場合は、ケーブルの長さをそろえて配線してください。

症状がよくなる場合

- ・お買い上げの販売店までお問い合わせください。

製品仕様

ワイヤレスマイク : SPK-009

型式	: ダイナミックマイク
指向特性	: 単一指向性
赤外線波長	: 870±30nm
周波数特性	: 80~15,000Hz
変調方式	: 周波数変調
搬送波周波数	: Ach(2.06MHz)、Bch(2.56MHz)
送信チャンネル	: 1チャンネル
電源	: 単三型ニッケル水素電池 (1.2V 2400mAh) × 2
連続使用時間	: ロー出力時 約8時間 ハイ出力時 約4.5時間
充電時間	: 約5.5時間
外形寸法	: Φ59 × 255mm
重量	: 約304g (単三型ニッケル水素電池 × 2 含む)

レシーバー : SPK-007

コネクタの種類	: RCA、メス
受信周波数	: Aチャンネル : 2.06MHz、Bチャンネル : 2.56MHz
受信チャンネル数	: 2チャンネル
出力レベル	: アンバランス出力 (VOL MAX) マイク -45dBV ライン -30dBV
消費電力	: 5W
電源	: DC12V、1A
寸法	: 幅142mm × 高さ40mm × 奥行き112mm
重量	: 570g

受光器 : SPK-016

通信方式	: 赤外線コードレス方式
受信周波数帯域	: 2 ~ 3MHz
受信距離	: 最大16m
指向性	: 単一指向性
接続端子	: ねじ端子 × 2
電源	: DC10V (業務用赤外線レシーバー SPK-007 より供給)
寸法	: 幅82.3mm × 高さ43mm × 奥行き21mm
重量	: 約30g

充電器 : SPK-008

方式	: 急速充電
電源	: DC12V、1A
充電出力	: DC3.5V、400mA × 2
消費電力	: 6.5W (充電中)
充電時間	: 約5.5時間 (単三型ニッケル水素電池 2400mAh 2本使用時)
寸法	: 幅166mm × 高さ118mm × 奥行き72mm
重量	: 約336g

製品の規格・仕様は改善などのため、予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

保証について

本保証書は、保証期間中に本製品を保証するもので、付属品類は保証の対象になりません。保証期間内に本製品が故障した場合は、保証規定によって無償修理いたします。

保証対象商品 : レシーバー(SPK-007)、受光器(SPK-016)、充電器(SPK-008)

保証対象外商品 : ワイヤレスマイク(SPK-009)、ACアダプター、付属ケーブル、ニッケル水素電池(業務保険免責ご用意しております)

- 保証期間はお買い上げの日から1年間です。ただし、寿命部品や消耗品(スイッチ類、電池など)の自然消耗、磨耗、劣化は除きます。
- 補修部品の保有期間は製造打ち切り後5年間です。
- 次の修理などは保証期間内であっても有料修理となります。
 - ・消耗部品(スイッチ類、電池など)の交換。
 - ・お取扱い方法が不適当のために生じた故障。
 - ・天災(火災、浸水など)によって生じた故障。
 - ・故障の原因が、本製品以外の他の機器にある場合。
 - ・不当な改造、調整、部品交換などにより生じた故障または損傷。
 - ・保証書にお買い上げ日、販売店名が未記入の場合、または字句が書き替えられている場合。
 - ・本保証書の提示がない場合。

尚、当社が修理した部分が再度故障した場合は、保証期間外であっても、修理した日より3ヶ月以内に限り無償修理いたします。

- 製品を分解、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 本記載内容によってお客様の法律情報権利を制限するものではありません。
- 修理、運送費が製品の価格より高くなる場合がありますので、あらかじめお買い上げの販売店へご相談ください。発送にかかる費用は、お客様の負担とさせていただきます。
- 修理中の代替品、商品の貸し出しなどは、いかなる場合においても一切行っておりません。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などによりお客様、または第三者が受けられた損害につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 保証書に販売年月日などの記入がない場合は無効となります。記入できないときは、お買い上げ年月日を証明できる領収書などと一緒に保管してください。
- シリアルN°シール、保証書は再発行いたしません。紛失することのないようご注意ください。

アフターサービスについて

- 修理を依頼される場合は、ご購入の販売店にご連絡ください。
- 保障期間中の修理の際は、本保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。
- 保障期間後の修理につきましては、ご要望により有料で修理させていただきます。修理不可能な場合もございますので、ご了承ください。
- 修理を依頼される前に、まず取扱説明書をよくお読みのうえ、もう一度御確認ください。それでも異常がある場合は、ご購入頂いた販売店へお問い合わせください。
- 修理を依頼される場合は、保証書の提示をお願い致します。
- 修理および製品のお取り扱いについてのご質問、ご相談は、ご購入頂いた販売店へお問い合わせください。
- 修理に出される際は、輸送時の損傷などを防ぐため、ご購入されたときの箱と梱包材を御使用ください。

〒808-0035

福岡県北九州市若松区白山3-7-30
サウンドピュア株式会社
mail : soundpure@iwk.bbq.jp

